

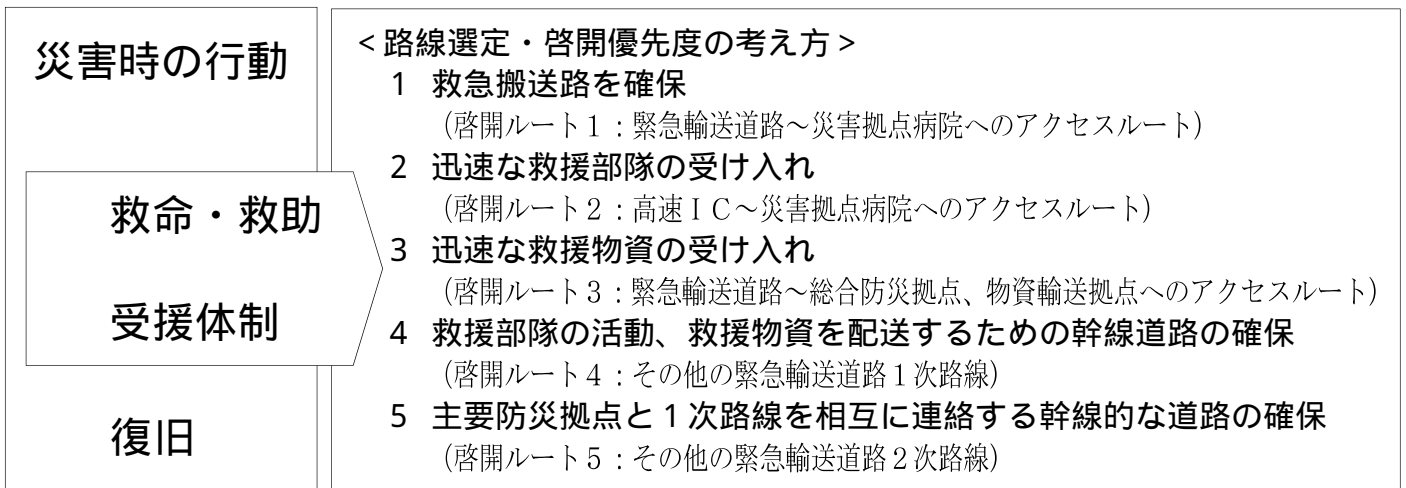
千葉市道路啓開計画

1 計画の目的

大規模災害が発生した際に、深刻な道路の交通麻痺、多数の被災者の発生、物流機能の低下による物資不足などの発生が予測されている。このため、発災時には負傷者の救助や被災者に救援物資を届ける緊急車両などが通行するルートを早急に確保することが重要であり、本計画を定めることで、道路啓開活動の迅速化・円滑化を図り、もって市民の生命・財産、生活、経済活動への影響を最小限に留めることを目的とする。

2 優先啓開をする路線選定の考え方

災害時の行動のうち、早急に対処すべき救命・救助と受援体制を確立するため、緊急輸送道路と緊急輸送道路から災害拠点病院等を結ぶ路線を対象に、啓開する路線の選定と優先度を定めた。また、選定にあたり、無電柱化路線及び整備対象路線、緊急輸送道路における沿道建築物の耐震化状況、道路車線数、国土交通大臣が指定する「重要物流道路」の指定路線を考慮した。(参考資料参照)



3 道路啓開の基本的な行動内容

道路啓開作業は、早期の緊急通行車両の通行幅確保のため、片側2車線道路の場合、上下各1車線、計2車線の啓開、片側1車線道路の場合、1車線分の啓開を基本とする。

4 大規模地震からの道路啓開の活動フロー

災害発生から7日間を経過時間に依りて5つに分類し、啓開ルートごとに優先順位と目標啓開時間を定めた。

優先順位(局面)	1(第2局面)	2(第3局面)	3(第3局面)	4(第3局面)	5(第4局面)
啓開ルート名	啓開ルート1	啓開ルート2	啓開ルート3	啓開ルート4	啓開ルート5
目標啓開時間	12時間	36時間	48時間	72時間	7日間

()内は、千葉市業務継続計画の時間区分の局面による。

5 計画のPDCAサイクルに向けた取り組み

平時から大規模災害の発生を想定した防災訓練を関係機関の協力の下に定期的実施し、現場対応力の向上や連携強化を図り、訓練の実施を通して得られた知見や課題などを踏まえて、計画内容の見直し、充実を図ることにより実効性を高め、計画のスパイラルアップを図る。

千葉市道路啓開計画

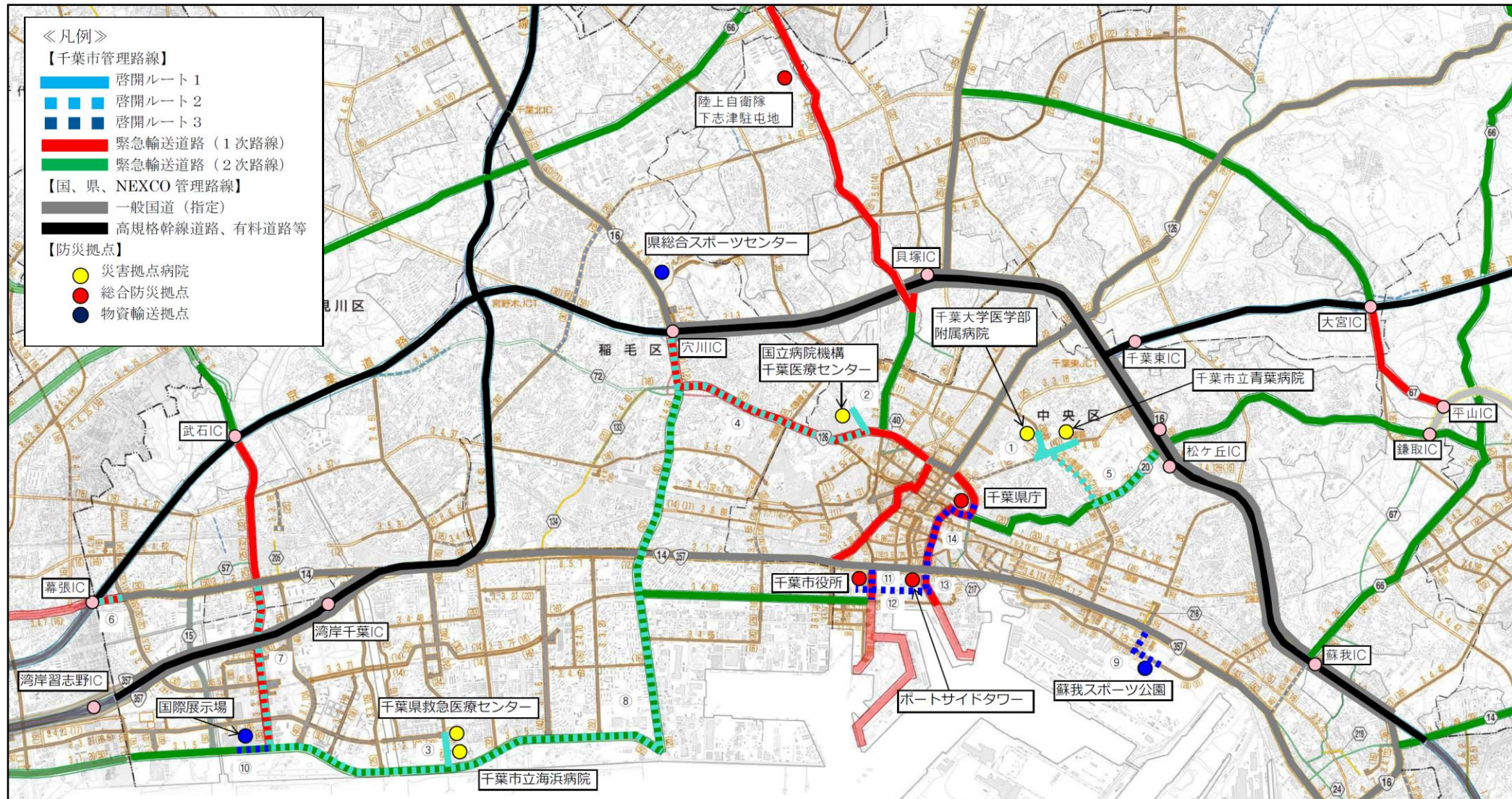


図1 優先啓開路線図

表1 広域防災拠点

広域防災拠点名	施設名	広域防災拠点名	施設名
災害拠点病院	千葉大学医学部附属病院	物資輸送拠点	日本コンベンションセンター
	千葉市立青葉病院		国際展示場（幕張メッセ）
	国立病院機構千葉医療センター		蘇我スポーツ公園
	千葉市立海浜病院		県総合スポーツセンター
	千葉県救急医療センター		
総合防災拠点	千葉市役所	千葉広域災害ボランティアセンター設置拠点	県総合スポーツセンター
	ポートサイドタワー	救援部隊拠点	蘇我スポーツ公園
	千葉県庁		陸上自衛隊下志津駐屯地
			県総合スポーツセンター

表2 優先啓開ルート

啓開ルート名	目標啓開時間	No.	路線名	路線延長 (km)	車線数	目的とする施設名
啓開ルート1	12時間	①	中央星久喜町線	0.2	2	千葉大学医学部附属病院 千葉市立青葉病院
			千葉大学線	0.3	2	
		②	椿森24号線	0.3	2	国立病院機構千葉医療センター
啓開ルート2	36時間	③	磯辺真砂線	0.2	4	千葉市立海浜病院 千葉県救急医療センター
		④	国道126号	2.8	4	国立病院機構千葉医療センター
			千葉大綱線	1.1	2	千葉大学医学部附属病院 千葉市立青葉病院
		⑤	西千葉駅稲荷町線	0.9	4	
		⑥	国道14号	0.2	2 ~ 4	千葉市立海浜病院 千葉県救急医療センター 国際展示場
			⑦	中瀬幕張町線	2.1	4
		⑧	千葉臨海線	2.3	6	
			⑧	新港穴川線	4.6	4
啓開ルート3	48時間	⑨	川崎町南北線	0.5	4	蘇我スポーツ公園
			川崎町東西2号線	0.2	4	
		⑩	千葉臨海線	0.4	6	国際展示場
		⑪	千葉港黒砂台線	0.2	4	千葉市役所 ポートサイドタワー
		⑫	千葉港5号線	0.8	4	
		⑬	問屋町2号線	0.2	4	
		⑭	千葉県庁	本千葉停車場線	0.7	4
本千葉町6号線	0.2			4		
中央今井町線	0.3			4		
市場町4号線	0.1			4		
啓開ルート4 (目標啓開時間：72時間)				その他の緊急輸送道路1次路線		
啓開ルート5 (目標啓開時間：7日)				その他の緊急輸送道路2次路線		